



## 業間なわとびをがんばっています。

1月23日(火)の20分休みに「業間なわとび」をしました。2限目の授業が終わると、「業間なわとび」が始まる合図の音楽が鳴り、子どもたちが運動場に集まってグループごとに大なわとびの練習が始まりました。業間なわとびでは、縦割り班を基本としたグループで、大なわとび(8の字とび)を行いました。高学年の子たちがなわを回し、8の字とびで、前から順番に並んでなわをとんでいき、グループで3分間にとべた回数を競います。1年生は初めてで、最初回っているなわに飛び込んでいくのに勇気がいったと思いますが、高学年の子たちがやさしく声をかけてくれ、少しずつとべるようになってきました。なわとび集会の当日は、チャレンジが3回あり、一番とべた回数を競います。



1月30日(火)のなわとび集会では、異学年集団で楽しく協力し、終わった時に充実感のある穏やかでやさしい気持ちにみんながなれることを願っています。各グループでなかまと相談して他のグループと回数を競い合うのもよし、下級生にやさしくとび方を教えて楽しい時間にすることもよし、それぞれのグループごとにめあてがあってもいいと思います。ただし、くれぐれもケガのないように、一所懸命がんばってくれることを期待しています。



## 授業参観を行いました。

1月24日(水)の2限目～4限目に授業参観を行いました。当日は雪の舞う寒い中でしたが、多くの保護者の皆様にご参観いただきました。授業の妨げにならないように廊下からこっそり参観いただいたり、自家用車の駐車に配慮いただいたりした保護者の方もみえました。ご理解、ご協力、誠にありがとうございました。

2限目～4限目まで、すべての授業を見ていただいた保護者の方もみえました。子どもたちは、体育館でなわとびをしたり、音楽室で楽器演奏をしたり、教室でクイズをしたり、絵本を使って「本当のなかまとは？」について考えたり、一所懸命課題に取り組んでいました。

中には、祖父や祖母に授業参観に来ていただいているご家庭もありました。子どもたちは、自分の授業中ががんばっている姿を見てもらおうと、いつもより、はりきって授業に参加していました。特に1、2年生、元気があって良かったです。

## 大雪への対応ありがとうございました。

1月25日(木)は、前日午後からの雪が降り積もって、大雪警報が発令され、四日市市内の全小中学校が臨時休校となりました。当日は、Zoomを使って「オンライン朝の会」を実施し、健康観察、家の周りの雪の状況確認、休校中の課題の説明、次の日の学習予定の連絡等をさせていただきました。保護者の皆様の中には、子どもたちのそばで、一緒に聞いていただいていた方もおみえだったと思います。

突然の自然災害等によって臨時休校となり、オンライン授業に切り替えざるを得ない状況も今後は予測されます。どんな状況が起こっても、子どもたちの学びを止めないよう、今回は機器操作の練習も兼ねてこのような機会を設定させていただきました。ご理解、ご協力ありがとうございました。

授業再開に向け、通学路の雪かきをしていただいた保護者や地域の皆様もおみえでした。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

※ 臨時休校があった関係で、学校だより(ふれあい)第51号の発行日が配付日と1日違っています。ご了承ください。

(文責 北住 昌文)

